

ハンズオン東京「ユースサミット 2022」概要

背景・経緯

認定 NPO 法人 ハンズオン東京は、コミュニティのニーズに合った有意義なボランティア活動の場を二か国語で提供することにより、社会へ貢献し、ボランティアリズムを浸透させ、リーダーたちを育成することをミッションとしています。一人ひとりの個性が輝き、お互いに手を差し伸べ、サポートしあう社会を目指しています。

そして、特に、高校生や大学生、20代の若者（ユース）が社会課題について考え、変革の原動力、ファシリテーターとして積極的に活躍できるよう、ハンズオン東京ではユースグループの活動を推進しています。このユースグループには個人として登録しているボランティアのほか、アメリカン・スクール・イン・ジャパン（ASIJ）や、早稲田大学、上智大学、国際基督教大学（ICU）など、学校との連携も進めています。インターナショナル・スクールの学生も多く、国際色豊かなグループです。

これまでのユースの活動は、ハンズオン東京のウェブサイトを通じて提供されるボランティアの機会に参加するのが主体でしたが、今年度からはハンズオン東京のユース委員会の念願でもありましたとおり、ユースの発想で、ユースが自らインパクトのある活動を企画・運営することを目指します。

社会課題に目を向け、解決に向かう「ソーシャル・イノベーション」は、現代のキーワードとなっています。コミュニティパートナーと一緒に独自のプロジェクトを立ち上げるなど、現場で新たな人間関係を築いて成長し、継続するための知識とスキルを身につけ、次世代のリーダー育成を目指します。

概要

高校生や大学生、20代の若者（ユース）が、自分の興味のある社会課題ごとにグループをつくり、ともに考え、活動し、その成果を含め発表しあう「ユースサミット 2022」を2022年9月に開催。

それに向けて、次のスケジュールで準備をします。

1月

ボランティア登録しているユースメンバー（450人）、また、連携している学校に案内を出し、参加者を募る。

2月6日（日）午前 10:00-11:30 ユースサミット キックオフ開催

@Temple University Japan Campus

次のフォーカス分野ごとにグループ分けをし、それぞれ5人程、2グループずつの参加者を目指す。

- ・スペシャルニーズ（障がい者）
- ・児童養護施設
- ・生活困窮者
- ・環境

各分野の専門家からの講話を聴くセッションを開催。その上でグループごとに数回のミーティングを経て、課題の定義をし、その解決に向けた活動内容、活動終了後のインパクトの想定を明確にする。

4～7月

グループごとの打ち合わせと活動実施

次世代リーダー育成を目標にするため、ハンズオン東京理事やスポンサー企業のリーダーがメンタリングとアドバイスをしながら進めます。

8～9月

グループごとにプレゼンテーション準備

9月25日（日）午前 ユースサミット開催

想定参加人数

参加ユース （会場）100人（オンライン）50人

その他観客 （会場）200名

（ハンズオン東京のサポート企業、コミュニティパートナーをご招待）

内容： インスピレーショントーク

各グループ プレゼンテーション、およびQ&A 30分

プレゼンテーションの内容は、課題の説明、活動内容と実績、活動のインパクトを含みます。日英同時通訳も入り、海外からのオンライン参加、また在日の外国人の参加も促します。

目指す成果

社会課題について考え、変革の原動力、ファシリテーターとして積極的に活躍できる次世代を育成します。

認定特定非営利活動法人ハンズオン東京とは

ハンズオン東京は、国際交流から生まれたボランティア団体です。2006年に、外資系企業の駐在員として来日した役員夫人がボランティアをする先を探し、なかなか受け入れてもらえず、バイリンガルの友人と共に活動を開始したのが始まりです。2009年に「特定非営利活動法人（NPO 法人）」を取得、2017年には東京都より認定を受けた「認定特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）」となりました。

コミュニティのニーズに合った有意義なボランティア活動の場を二か国語で提供することにより、社会へ貢献し、ボランティアリズムを浸透させ、リーダーたちを育成することをミッションとしています。一人ひとりの個性が輝き、また お互いに手を差しのべ サポートしあう社会を目指しています。

主な事業活動は、次の分野におけるボランティア活動です。

- 児童養護施設、児童養護施設を卒園し生活困窮している若者たち
- 障がい者団体
- 高齢者施設
- 障がい者と健常者の共生に向けた活動
- 環境問題の学習と、河川敷などの清掃活動
- 被災地支援（東北の大震災以降、10年にわたり活動し、今年終了）

ボランティアとして登録し実際に活動をおこなうボランティア数は、1500人を超えます。ボランティアは、ボランティアカレンダーを確認し、参加可能な数時間だけ気軽に活動に参加しています。

また、すべての分野で活動を通じたリーダー育成をおこなっています。各活動において、バイリンガルのボランティアリーダーをたてて、ニーズの把握、活動の計画、他のボランティアへの説明などを共に実施しています。また、来日した外国人が気軽に、日本でボランティア活動ができる体制を築いています。

さらに、ユース（主に高校生から20代の若者たち）グループを「ユースインパクトグループ」と称し、積極的に参加を促しています。

ハンズオン東京では、受益者の皆さんを「コミュニティパートナー」と呼んでいます。NPO 法人、社会福祉法人、教育機関、医療機関、スペシャルニーズの方を支援する団体などとパートナーシップを結び、地域社会のニーズに合ったボランティアの機会を企画・提供しています。

そして、これまでの経験と、コミュニティパートナーの皆さんと培ってきた信頼関係のもと、コミュニティのニーズ、要望に寄り添った、より質の高いボランティア・プロジェクトを企画することを目指しています。